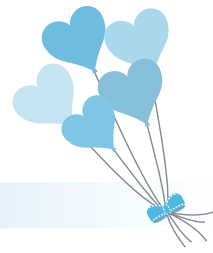


こころをつなぐ まちづくり

人権シリーズ vol.151



シリーズ「同和問題⑮」

米騒動から100年

1918（大正7）年、日本は第一次世界大戦の影響で好景気の状態でしたが、同時に急速なインフレも進行していました。一部の業者や地主による米の投機的買い占めや売り惜しみなどにより、米の価格が暴騰しました。民衆は反発し、「打ちこわし」や「焼き討ち」といった騒動が各地で発生しました。これが「米騒動」と呼ばれる出来事で、当時大きな社会問題となりました。「米騒動」での刑事処分者は8、185人にも上りましたが、その内の1割以上が被差別部落の人と伝えられています。騒動自体は生活に困窮した民衆による自然発生的なものでしたが、政府は被差別部落の役割を誇大に宣伝し、差別意識を利用して民衆の分断を図りました。被差別部落を包囲して住民全てを逮捕したり、文字の読めない人に警察が偽の調書を作成し、裁判で有罪の根拠としたりしたのです。

しかし、「米騒動」の与えた影響は大きく、その後の政府の被差別部落に対する政策は一変しました。それまでの生活、風紀、経済向上を自分達の負担で行うことを求める政策から、差別する社会そのものを問題として社会啓発を行い、融和を図ろうとする政策に転換され、「福祉」の視点からの政策が登場しました。1920（大正9）年、国は部落改善費5万円を計上します。これは国が計上した初めての同和对策予算です。同年国は内務省に社会局を設置し、府県も社会課を設置して隣保館建設や被差別部落の改善に取り組むようになります。被差別部落の人達もそれまでの運動や政府への批判を強め、同情融和的な運動から、同情を排して被差別部落内外の民衆が対等の立場で融和を図ろうとする自主的な融和運動が起こります。そして、1922（大正11）年3月には、自ら自主的に解放を求める「全国水平社」が創立します。「米騒動」は、国が政策転換を行う契機となった出来事であり、同時に被差別部落の人達自らが解放を求める運動を起こす遠因ともなりました。

●第12回国東市隣保館まつり
「こころの川柳」
課題《夏休み》応募作品

命がけ
雲よくもらせ猛暑かな
武蔵町 西村 剛

アブラゼミ
犬の鳴き声爆睡中
国東町 岡野 コナン

部落差別は存在し、情報化社会の進展によって状況も変化しています。そのため、2年前の2016（平成28）年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律が目指しているのは部落差別のない社会の実現です。憲法は、全ての国民が基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されることを定めています。部落差別は普段意識していなくても、「結婚」や「就職」など人生の転機となるときにあらわれます。「私には関係ない」と無関心になるのではなく、自分自身の問題として一人ひとりが正しく理解し、協力して部落差別のない社会をつくらせて行きましょう。

（文責：人権・同和对策課 河野）

教育の里だより 国東市の学校給食について

学校給食は、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進、体格の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、好ましい人間関係を育てるなど教育的役割も担っています。

国東市には3つの給食調理場（国見・国東・安岐）があり、毎日計2,000食を作っていますが、おいしい給食であることはもちろんのこと、安心して食べられる安全な給食を目指しています。そのために毎年、調理従事者を中心に研修会に積極的に参加しています。



調理従事者研修会

今年の「くにさき地区学校給食調理従事者研修会」は、7月30日に国見町生涯学習センター「みんなかん」で32名が参加し行われました。衛生講話では、東部保健所職員より「異物混入」や「食中毒」について詳細な指導・助言をいただきました。場所を宇佐市に移動し、「大関食品株式会社」（HACCP認定工場）



製造工程の説明

では、えびなどの加工食品の製造工程を見学しました。「大分県学校給食調理従事者衛生管理研修会」は、7月31日に県下から一堂に会して県庁で開催され、国東市から8名が参加し、衛生管理の講話やグループ協議を行い、知識を深めました。



製造工場見学

また、学校へは栄養教諭による食育の授業を行ったり、食材には地産地消にも力を入れており、道の駅など地元産の新鮮な野菜など使用しています。毎月の「献立表」と「給食だより」で学校にはお知らせしておりますが、「食育の日」・「まるごと大分県」・「県産魚の日」・「学校給食週間」・「もったいないデー」などを設けて、地産地消や郷土料理等の献立で給食を提供しています。今年も地域の方に学校給食を知ってもらおうと、「地域ふれあい学校給食試食会」で給食を食べていただく取り組みも行っています。

給食センターとしては、学校給食を通じて子ども達の健全な心身の成長を支えていくために、これからも様々な取り組みを行ってまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



栄養バランスの良い給食



食育授業



大釜で調理



野菜は流水3回洗浄

【問合先】給食センター ☎0978-72-5199